

令和5年度

第16回邑南町議会意見交換会

報 告 書

邑南町議会

邑南町議会では、平成19年に議会基本条例を制定しました。その第4条第3項において、「議会は、町民と意見交換の場を多様に設けなければならない。」と規定しています。

これにもとづき、平成20年から毎年、町内各公民館で議会と町民との意見交換会を開催しています。今年度の開催状況を下表に、近年の状況は次ページのとおりです。

意見交換会も第16回を迎えましたが、今回も町の施策や身近な地域の問題などについて活発に意見交換がなされました。いただいたご意見は、関係部署への確認・調査依頼、委員会での協議や一般質問など、今後の議会および議員の活動に活かしていきます。

これからもできうる限りみなさんと「町の将来」「身近な地域の問題」などについてともに考え、話し合っていきたいと思っております。

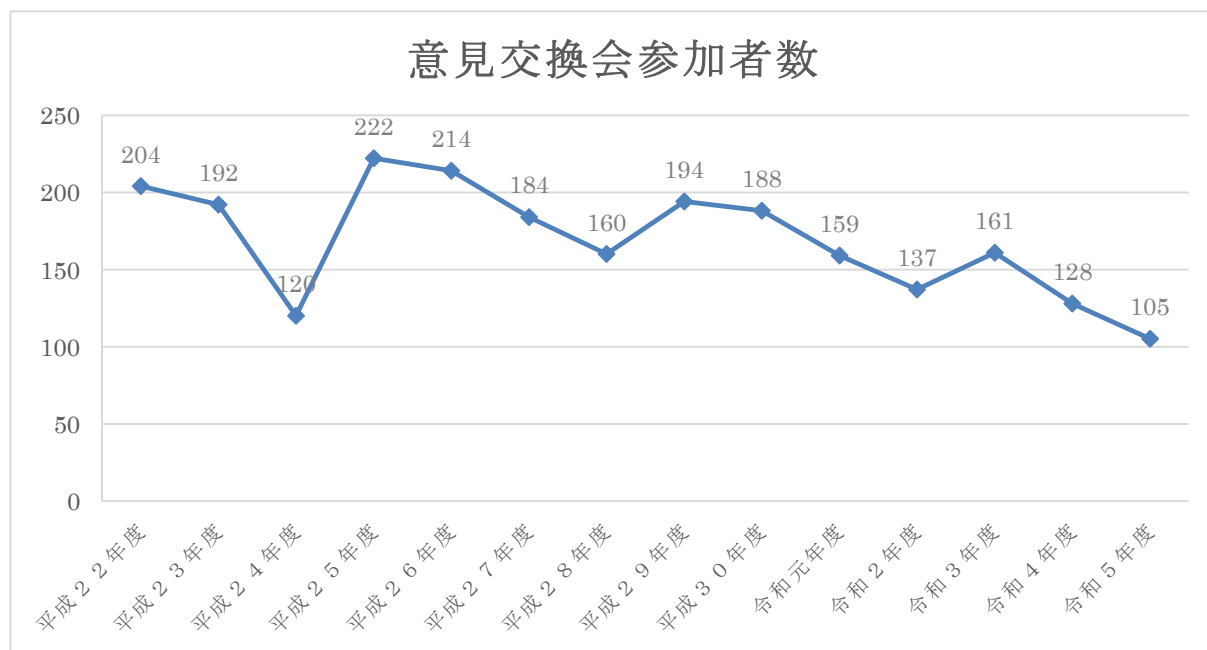
ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

● 開催状況

第16回意見交換会出席者数

開催日	開催場所	出席者数
8月2日(水)	日貫公民館	19人
	田所公民館	9人
	中野公民館	3人
	高原公民館	6人
8月7日(月)	井原公民館	8人
	矢上公民館	12人
	市木公民館	6人
	布施公民館	7人
8月8日(火)	日和公民館	7人
	出羽公民館	10人
	阿須那公民館	10人
	口羽公民館	8人

● 近年の状況（意見交換会参加者数）



● 会場別目次

日貴公民館		1 ページ
田所公民館		1 ページ
中野公民館		2 ページ
高原公民館		3 ページ
井原公民館		4 ページ
矢上公民館		5 ページ
市木公民館		5 ページ
布施公民館		6 ページ
日和公民館		6 ページ
出羽公民館		7 ページ
阿須那公民館	...	7 ページ
口羽公民館		8 ページ

日貫公民館まとめ

- 自治会の在り方についてどう考えるか。
- 人口減少問題について。
- 空き家が多くなってきている。危険空き家が多いが対策は。
- 放置された農地が増えていくことを危惧している。どう考えるか。
- ハーブ米の在庫が残っているが対策は。
- 米の単価が低すぎて作れない。若い人の農業をする人がいなくなっている。対策は。
- 百姓の担い手がいないから困っている。
- 道の駅瑞穂の産物を作る人が少なくなっているが、本当に大丈夫なのか。
- ハード、ソフト、両面で人口問題について取り組んでほしい。

田所公民館まとめ

- 全国学力テストの結果について。
 - ・島根県はレベルが低い。邑南町の結果を公表し、町民が教育に関心を持つきっかけにならないか。学校統廃合の議論を行う時期ではないか。
 - ・順位を公表すると、競争になる恐れもある。
- 邑南町の教育予算は少ないのではないかと。他の自治体に比べて教育備品が少ない。近隣自治体との教育環境に差があるのではないかと。
- 答弁で「予算がない」「国がやるべきこと」といわれるが、やるためにはどうすればできるのかを考えていくことが必要ではないかと。
- 不登校になる要因は様々ではあるが、「フリースクール」についての構想はあるのか。
- 邑南町の教育では、落ちこぼれがないように対応され、一人ひとりが大切に育てられている。学力も必要だが、学校は学力だけでなく、行って楽しいと思える学校になってほしい。
- 学校、家庭、地域をつなげる役割が公民館にはある。町内の公民館は評価される活動を行っている。
- スポーツ事業について。
 - ・町内の子どもたちにプロ選手のプレーを見せたい。記憶に残る。
- 今年度、国保料が軽減された要因は何か。
- 広島と広域連合協定を締結しているが、どういう効果が表れているのかが知りたい。
- 「日本一の子育て村」や「A級グルメ」について総括し、町民に説明が必要ではないかと。
- 在宅介護について。

- ・ヘルパー不足は訪問介護だけでなく、施設でも深刻な問題である。空き部屋があっても利用できない現状がある。介護保険料を払っているのに利用できない。町として何ができるのか考えてほしい。
- ・以前は社協がヘルパーの養成をしていたが、現在はどうか。
- ・今後、介護サービスを受けたくても受けられない介護難民が発生するのではないか。
- 人口問題について。
 - ・人口が1万人を切っている。住民にも真剣に考えてほしいが、どう伝えればいいのか迷う。行政からも現状をアピールしてほしい。
- 議員も地域の小さな会議・会合に出て住民の声を聴いてほしい。
- 行政の課名が、何をする課なのか町民にわかりにくい。

中野公民館まとめ

- 霧の湯について、燃料高、経営難だからと言って休業しているのは残念に思う。町民の癒しの場でもあり、早く再開してほしい。
- 自然、地域の産業、企業など地域のお宝を掘り起こし、地域の活性化、邑南町の活性化に努めてほしい。
- 葬儀はいつまでも自宅(家族)葬でされるのか、こういった対応が考えられるのか。
- 公民館事務所の冷房が壊れているので早急に整備してほしい。
- 断魚溪にある石見町長の看板はいつ変えるのか
- 意見交換で述べたことは取り上げて反映させないと意味がない。
- 道の駅関係の情報が出てこない。情報量が足りない。
- 矢上高校の寮については、ここ1、2年で急に話が出てきたように思える。情報発信が足りない。
- 高校の寮の食事について、改善が必要ではないか
- 中山間地域への補助が有効に活用されていない。
- 後継者問題による休耕田についての対策を望む。地元で米が供給できない事態になる可能性がある。
- 意見交換会が魅力ある会になることを望む。また、フィードバックしてほしい。
- 防災無線によるお知らせについて、放送内容の検討も必要ではないか。
- 自治会再編に向けて動いていかなければならない。行政も協力してほしい。
- 公民館が中心となるコミュニティの在り方について、互いに意見を出し合い進めていく必

要がある。

- きずなロードの管理について、草刈りなど維持が難しくなっている。

高原公民館まとめ

- 執行部が補正予算の提出議案を取り下げたが、産業建設常任委員会として、提出すべき議案ではなかったのではないか。
- 執行部と議会が噛み合っていないのではないか。
- 霧の湯について。
 - ・近隣の市町では温泉施設が撤退しているが、霧の湯に薪ボイラー設備を投資して再生できるか。施設がなくても良いのではないか。
 - ・霧の湯と同時期に、近隣市町で建設された温泉施設は盛況なのに、何故霧の湯は不人気なのか。
 - ・霧の湯の存続については、さまざまな角度から検証する必要があるのではないか。
 - ・合併前に建設された温泉施設でもあり、採算面に問題があっても町には必要ではないか。
 - ・霧の湯を指定管理に出して、引き受ける事業者がいるか。
- 一般質問の公表については、質問事項だけでなく質問項目(内容)も公表してほしい。
- A 級グルメ構想と地産地消の関係について、「地産地消」では何を指すのか。また、A 級グルメの脱退について明確に説明していない。
- 物価高騰で生活が厳しい状況下では、町民に対する無償化への取り組みが必要ではないか。
- ハーブ米を邑南町のブランド米として、町がバックアップして販売する取り組みが足りないし、JA しまねとのタイアップが足りない。
- 消防団の消防設備関連について。
 - ・ホースが古くて穴があいている物や、ホースの積載設備が不良で、火災現場までに落下する可能性がある。
 - ・巻き取りにくいホース設備の改善を求めると共に、ホースバックを活用すれば多くのホースが運ばれ、団員の負担軽減に繋がる。
- 災害に対する考えが希薄になっており、防災に対する注意喚起と、災害発生時の避難意識の醸成が必要だ。
- 以前、町長は道の駅瑞穂は南の玄関、雲井の里は北の玄関にすると発言していた。道の駅瑞穂だけに多額の投資をしており、雲井の里は北の玄関として成り立つのか。
- 小中学校の建設等について。

- ・石見中学校改築工事は石見中学校単体の事業か、将来の統廃合を見据えているのか。
- ・瑞穂中学校も建て替えの時期がきているが、瑞穂中学校も同じように建て替えるのか。
- ・町内の学校は、いずれも築後相当年数を経過しているが、現状の学校を維持するのか。
- カーボンニュートラルの取り組みは、ソーラーパネルの設置だけでは二酸化炭素は減らない。いかに電力の消費を減らすかだと思うが、町民にはどのように働きかけているのか。
- 町営バスも乗客が乗っていない大型バスを運行しているが、二酸化炭素削減への取り組みでは、排気ガスの削減も必要ではないか。
- 人口減少・高齢化等が進む状況下で、耕作農地の減少が続いており、今後農地の維持管理について、議員として意識して議論をするべきだ。
- 農地を守る事業は本町だけの問題ではないので、国策として国・県に働きかけ、集落等における農地政策に取り組むべきだ。

井原公民館まとめ

- 霧の湯の再開を望む。管理者を全国公募して、大手の体力のある企業に管理してもらうべきである。
- 矢上高校コンソーシアムは何をしているか様子がわからない。専門部会(委員会)を設置して、難関大学への進学、部活動の充実、畜産分野など重点的な活動をすべきではないか。
- 矢上地区の人が矢上高校寄宿舎生の病院への通院の支援などを行っているようだ。他の地区にも矢上高校生の支援のお願いをしてほしい。関わりたい人、お手伝いをしたい人はたくさんいる。
- 令和4年12月議会の鍵本議員の一般質問の再放送を中止した理由は。経緯等がわからない。
- 井原地区の旧農協の倉庫に、民俗資料がたくさん眠っている。井原公民館の建て替えに合わせてこれらの民俗資料の保管展示をしてほしい(他の参加者から、保存状態の良い資料は少ないとの意見あり)。
- 生活関連の料金が値上がりしている。せめて下水道料金だけでも値下げしてもらえないか。
- 井原公民館を現地で建て替える場合は、進入路等の拡幅等の整備も併せて行ってほしい。
- 邑南町で行っている電気の小売事業者が県外の業者なのか。会社や事業の内容を教えてください。
- 霧の湯の改修はどのようなものか。木質バイオマスの燃料に住宅解体時の廃材等は利用できるのか。

- 教育委員会は、小中学校のあり方について統廃合も含めあらゆる研究して考えを持つべきである。複式学級や1人しかいない学級の存在は本当に良いのか。この状況で「世界に羽ばたける力」が身につくのか。今後の学校の建て替えの補助条件は厳しくなる。人口が減り財政状況が厳しくなる中でどうしていくのか。
- 横断歩道の白線が薄くなっているところが多い。
- 近年の町政は何もかも手を出す。問題を感じることが多い。
- 大型の建設工事が続くが、町内業者が受注することが難しいものがある。

矢上公民館まとめ

- 原山林道の水害対策を兼ねた舗装整備はどうなっているか。
- 竹島の問題について町の学校での教育はどのようにしているか。
- 新電力会社のメリット、デメリットについて町民説明をするべきではないか。
- 町民に理解が得られてない道の駅事業はA級グルメ同様に税金の無駄遣いにならないか。
- 道の駅改築事業は、人口減少が続く将来の農業生産量も期待できない中で、若者に借金を背負わせないためにも、議会はもっと厳しい対応をすべきではないか。
- 様々な世代の声を聞き、活発な議論をするためには議員報酬を上げて議員のなり手不足にも対応すべきではないか。
- 人口減少の中で地域コミュニティのあり方や、自治会再編などはどの組織が中心に協議するのか。また、そのためには人的な支援も必要ではないか。
- 関係人口や税収を増やすためにも霧の湯の再開は必要だが、安心安全とバリアフリーを考慮する必要があるのではないか。
- 行政で町内における訪問販売や詐欺まがいの商法を規制することはできないか。
- 浜田作木線日貫工区の交互相行の信号機はいつ頃になったら取れるのか。

市木公民館まとめ

- 邑南町は色々な取り組みを行っていると思うが、情報発信が不足していると思う。行政も地域的にも、また、大型工事の情報も不足しているのでは？
- 議会広報紙は、写真が多くなり以前より見やすくなったと思う。
- 広報という点では、「地域支え合い会議のたより」も工夫したい。菊芋レシピや地名考シリーズ等を発信し、市木つながりで全国交流をめざしたい。
- 地域コミュニティの地域運営組織設立には、夢づくりプランや地区別戦略事業のように補

助金交付で推進しては？

- 地域の子どもの数が少なくなっている実感がある。小学校の統廃合が不安である。小規模の小学校の良さはあると思うので、日貴小学校の小規模特認校の取り組みは良いと思う。

布施公民館まとめ

- いわみ温泉霧の湯について(議会報の補正予算撤回の記事に関連して)
 - ・いわみ温泉・霧の湯の再開は「木質バイオマス利用」という事で、町の「売り」にもなるし、個人的には歓迎だが、採算についてはどうなのか。
 - ・木材の供給体制は大丈夫なのか。
- 人口減少対策に関連して。
 - ・議会の人口問題特別委員会の現状について。
 - ・公共施設等総合管理計画について。
 - ・地区別戦略、地域運営組織等との関連について。縦割り行政を横の連携に。
 - ・A級グルメ構想、日本一の子育て村構想、しごとづくりセンターについて。町としての基本的な理念が無いように感じる。いつの間にか消えてしまうのではなく、事業の結果、町にそして町民に何が残ったのか、検証とその共有が必要ではないか。
 - ・地域おこし協力隊の効果的な運用の考えについて。
 - ・町の基幹産業である農業、林業分野での海外人材の「移住」への考えについて。
 - ・町のふるさと教育の進め方について。
 - ・子育てに関する費用について。国への要望を求める意見。
- フィンランド共和国との交流の現状について。
 - ・まだ交流は続けているのか。(否定的な意見ではありません)
 - ・邑南町の特産物の「輸出先」としてもとらえる視点が必要ではないか。

日和公民館まとめ

- 食の学校のお陰で日和は賑わっていたが、今は寂しい。教育委員会がやるのは無理だと思う。どこかの業者をお願いしてやってもらえばいいと思う。農の学校も今はどうなったのやら。
- 自治会再編について。議員のみなさんはどう思っているか。公民館がコミュニティセンターになり、主事が居なくなると地域の事を考えてくれる人が居なくなるのではないか。心配だ。

- 議会と町長はなんであんなに仲が悪いのか。前もってもっと議論して本議会に臨むべきだ。役場職員の元気がない。職員に町民が少ないのは、町の発展に繋がらない。新年の互礼会に職員さんが来ないのはなぜだろう。新年くらいは地域の皆さんと会って、挨拶したりして欲しい。
- あいサポート派遣士をやっているが、ひきこもりの身障者の方に向けて、月に1回の集いをやっているが、実際には身障者の方も参加しづらい状況だ。共生社会と言いながら、できていないのでは。もっと身障者にも寄り添うべきだ。不登校の子の受け皿も、たけのこ学級だけだ。食の学校を活用して、子どもの居場所にできないか。

出羽公民館まとめ

- 議案について反対があるが、どのようなことが考えられるのか。
- 邑南町の赤瓦の景観は素晴らしいと町外の来訪者からも評価されている。この景観を大切にすべきだ。また、於保地盆地のたたら残丘も貴重な景観であり、開発に配慮すべきだ。
- 邑南町の20周年記念は町民みんなで祝い、町が一体感となるような計画が必要だ。
- 今後のコミュニティあり方基本方針が示されているが今後の方向性はどうか。自治会・公民館の今後のあり方はどうなるのか。拠点となる公民館は今後も重要な役割を担うことになるので、なくしてはならない。また、職員の配置も必要だ。
- 公民館長を時給としたことはいかななものか。館長の役割は重いものがあり、時給扱いは違和感がある。時給にしたのはなぜか。また、地域に密着した公民館主事はころころ変えるべきではないと思う。
- 男女共同参画をさらに推進していく必要がある。
- 公共施設等総合管理計画の「今後40年間に渡り毎年30億円必要」について説明して欲しい。これからの公共施設のあり方を町民に知らせ、共有すべきだ。
- 地元の電気店がなくなった。町内の小売業者をもっと大切にすべきだ。
- 久喜銀山の遺跡案内表示(看板)が十分でないので設置が必要だ。
- 道の駅瑞穂への出品が減らないよう生産者の育成が重要だ。

阿須那公民館まとめ

- 5月改正の自治法施行において議会の役割が明確になった。
 - ・町民議会を議会が主催することはいずれも反する。
 - ・町民議会の目的が見えない。

- ・町民議会は議会基本条例のどこに該当するのか。
- ・町民議会を開催するのであれば、議員総辞職して町民議会に任せればいい。議会は自信と自覚をもって、町民の負託にこたえるようお願いする。改正自治法と議会基本条例について議員間で論議を願う。
- 地域商社ビレッジプライド邑南のホームページに、鍵本議員の一般質問に対して厳しい文言で抗議の文章が載せられている。現在どうなっているのか。町民に対して説明してほしい。
- 6月議会において、霧の湯再開に向けての薪ボイラー事業の補正予算を上程されたが取り下げた。取り下げの経緯について。
- 中山間直接支払交付金について、5期で終了するのか。6期に入っても、加算措置はあるのか。
- 県道、町道に年々木が覆いかぶさって、大型車等通行の妨げになっているところが、各所見受けられる。対応について。
- 特別委員会の現状と課題について。議会改革は、議会と町民が近くなる仕組みをお願いする。
- 農業関係に対して力を入れて、農業者が楽になるような対策を講じてもらいたい。認定農業者にメリットがない。燃料、電気代の価格高騰による助成はあるのか。
- 鳥獣対策に対する予算について。猟師が高齢化により減少している。今後の対策について。

口羽公民館まとめ

- 霧の湯について。
 - ・霧の湯薪ボイラーはどうなっているのか。構想は。
 - ・総合管理になるが指定管理者は決まっているのか。
 - ・利用料金の管理などをなぜ変えられないのか。
 - ・薪はどこから仕入れるのか。
- おおなんきらりエネルギーについて。
 - ・おおなんきらりの運営は本当に大丈夫なのか。
 - ・電気を買ってくれるのは誰。
 - ・地域によって設置ができないのは不公平感を感じる。
 - ・どれだけ電気代が安くなるのか。
- その他。
 - ・屋根付きテニスコートはどうなっているのか。

- ・何をするにも後継者がいなくて困っている。
- ・A級グルメとは何。
- ・地域おこし協力隊を増やす努力をしてほしい。
- ・女性のUIターンを増やす政策を。
- ・女性の仕事を増やす努力を。
- ・高見の交差点はいつまでかかるのか。何年も片側通行で特に冬は危ない。
- ・テーマを絞って意見交換会をしてみても(地区地区で違うテーマなど)
- ・グループ分けして話し合いなどは。